

ときわぎ 学校評価臨時号

平成30年 2月28日
京都市立常磐野小学校
校長 山口 淳

【学校教育目標】

「自ら学び 心豊かにたくましく生き 夢かなえる子の育成」

【目指す子ども像】

- と 友だちを大切にする子
- き きまりを守る子
- わ わかった、できたを目指す子
- の のびのびと元気な子



【目指す学校像】

- ◎夢かなえる学校
- わかる喜び、学ぶ楽しさを実感できる学校
- 自分が認められ、安心して生活できる学校
- 信頼できる、大好きな教職員や友だちがいる学校
- 家庭・地域と協働して教育活動を進める学校



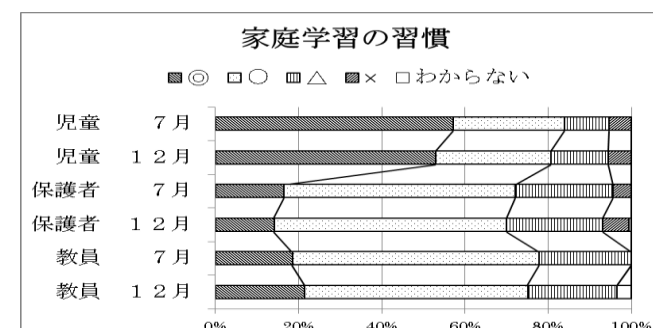
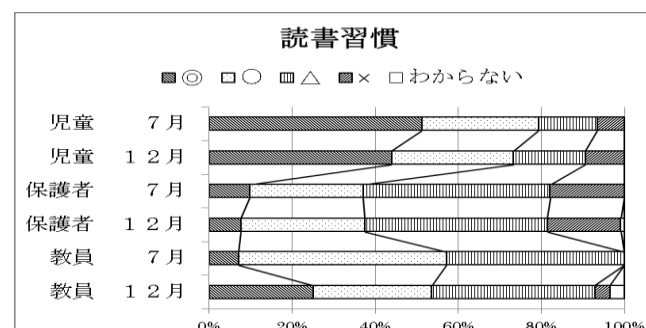
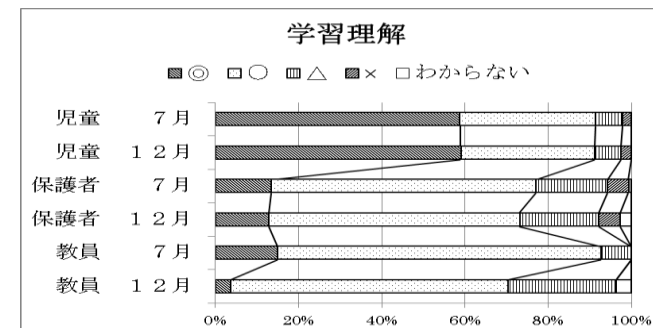
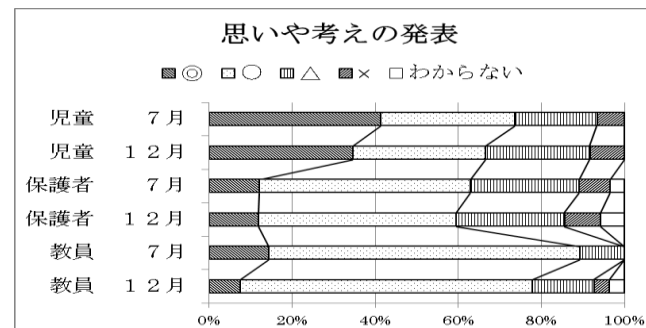
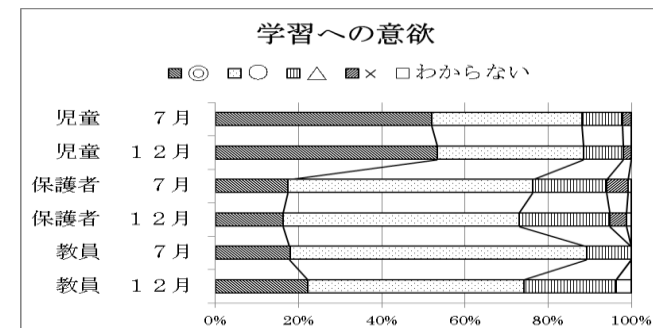
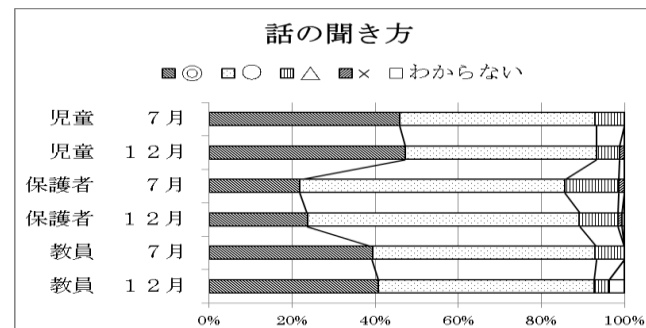
先日は、学校評価アンケート（後期）にご協力いただき、ありがとうございました。結果がまとまりましたので、ご報告させていただきます。

後期のアンケートは、前期との比較ができるように質問の文言を同じにしています。保護者の皆様から頂きましたアンケートや児童・教員によるアンケートをもとに、本校の取組やこれからの子育てについて、学校教育目標の目指す子ども像や目指す学校像の視点から考察を行いました。

グラフについては、全て棒の左から◎（よくできている）、○（大体できている）、△（あまりできていない）、×（できていない）の評価で表しています。また、今回は、前回との比較ができるように、2回分と3者のグラフを並べて表示しています。



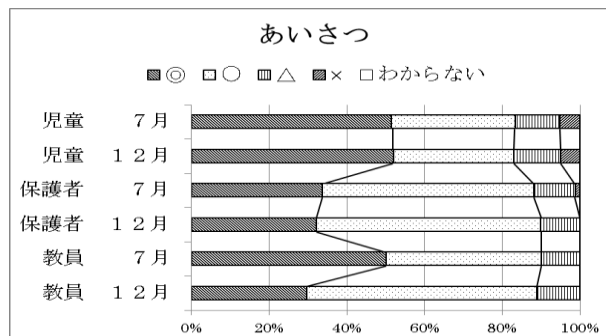
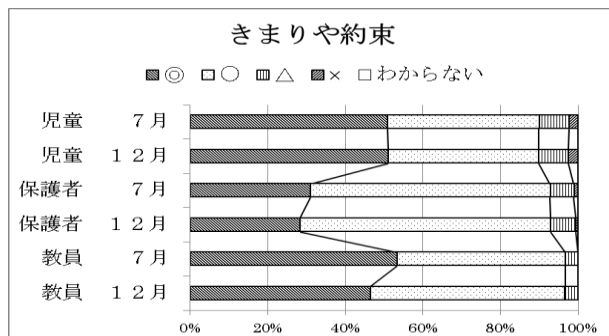
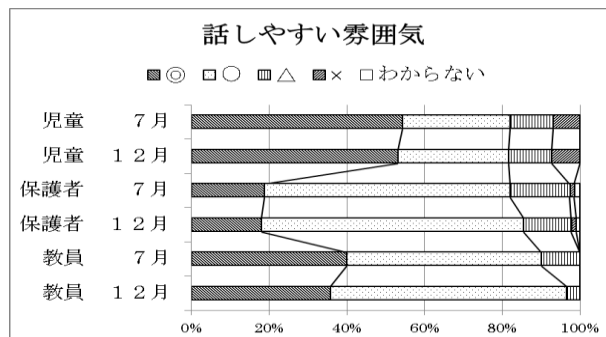
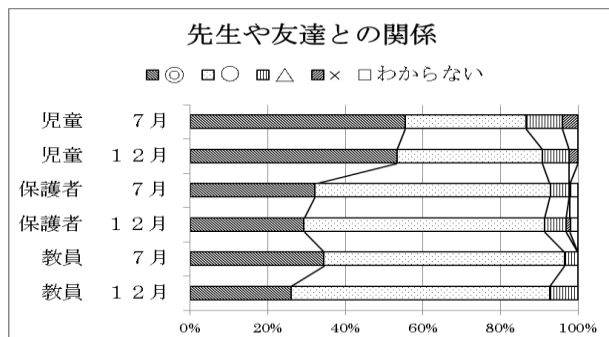
確かな学力の育成について



「話の聞き方」と「学習への意欲」については、7月と比べて◎と回答した児童がわずかなですが増加しました。これまでの授業実践の工夫や学習規律の徹底などの取組の成果が表れてきたのだと考えています。しかし、一方で、自分の思いや考えを発表している児童は減少しており、本校の児童の課題だと捉えています。児童がのびのびと自分の思いや考えを発表できるよう、言語活動を充実させ、共に学び合う学習集団作りを進めていきます。

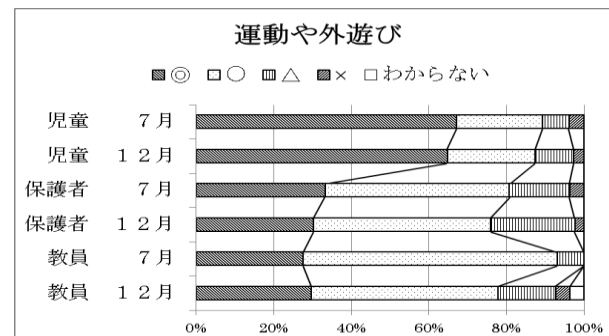
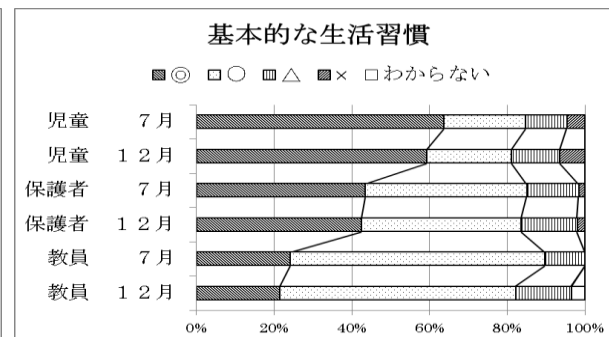
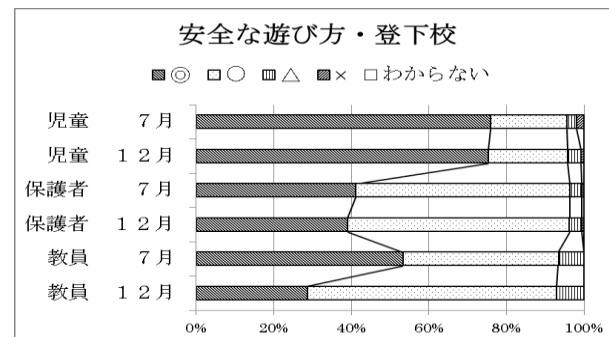
「読書習慣」については、児童のプラス評価が昨年度同時期と比べるとわずかに増加しましたが、今年度の7月と比べると約6%減少しました。学校では、読書習慣の形成を図るため、朝読書の時間を設けたり、学級での図書館利用の時間を確保したり、読書週間を設けたりするなど様々な取組を行っています。読書は、学力を高める下支えになるとともに、知識も広げてくれます。子ども達が本を好きになり、家庭でも読みたいと思えるような取組や環境を今後も探っていきたいと思います。ご家庭でも、お時間のある時に読み聞かせをしていただいたり、地域の図書館に足を運んだりしていただけると大変うれしいです。

豊かな心の育成について



7月のアンケートと同様、全ての項目において8割以上の児童がプラス評価をしています。特に、「先生や友達との関係」については、プラス評価が7月と比べて約4%増加しています。本校の目指す学校像の一つに、「信頼できる、大好きな教職員や友だちがいる学校」があります。月日が経つにつれ、先生や友達との関係が良好になっていっていることが読み取れ、大変うれしく思います。しかしながら、マイナス評価をしている児童も1割弱います。よりよい人間関係が構築できるよう、たてわり活動や人権教育等、引き続き取組を続けていきます。「あいさつ」に関しても、本校で重点項目として指導してきた成果が表れてきています。児童がよりよいあいさつをできるよう今後も取組を推進していきます。

健やかな体の育成について



全ての項目において8割以上の児童がプラス評価をしています。しかし、「基本的な生活習慣」については、児童・保護者・教員とも評価が下がる結果となりました。特に、◎と回答した児童が約5%減少しています。4月に実施された全国学力・学習状況調査においても、本校の児童の実態として基本的な生活習慣が定着していない様子が見受けられました。基本的な生活習慣の定着は、児童の心身の成長や健康な体づくりにもつながります。児童に基本的な生活習慣が定着するよう、より一層取組を進めていきたいと考えています。

「健やかな体の育成」に関わらず、全体的に教員の自己評価が低い傾向にありました。教員自身が自信をもって「できている」と回答できるよう、その理由を考えるとともに、改善・工夫すべき点を明らかにして指導に当たっていききたいと思います。



自由記述欄より

- ・こういったアンケートに答えることにより、勉強面でのサポートができていないことがよく分かったので、家庭学習にも力を入れていきたいと思います。
- ・家で本を読むことが少なく、読んでいても攻略本をひたすら読んでいます。学校でたくさん本を読むよう推奨していることを本人もよく分かっており、図書室でいろいろな種類の本を借りて学校で読んでいるようですが、読んだ本の内容を聞くと説明できなかつたり、おもしろかった本を説明できなかつたり、攻略本以外の心惹かれる本に出会えないようです。
- ・親が子どもにいろいろと働きかけてはいるが、本人が実行できていません（読書、宿題以外の勉強、早寝・早起き等）。

など

常磐野小学校学校運営協議会第3回理事会を2月26日（月）に開催しました。今回は、今年度の教育活動を振り返り、後期の学校評価アンケートの結果とその分析について学校から説明し、理事会の皆様から次のようなご意見をいただきました。

- ・6年生が、たてわりグループ（1～6年生まで各学年2名程度ずつが集まった小グループ）で読み聞かせをすることは、とてもよいと思う。読み聞かせをすることによって、本にこれまでよりも近づき、本を読む喜びを感じることができるのではないか。
- ・児童会が自分たちで憲章をつくって、全校でその憲章の実現に向かって取り組んでいってはどうか。
- ・子ども達がより豊かに育てられているかどうかを測る評価にしてはどうか。

など

頂いたご意見を今後の教育活動に活かし取り組んでまいります。